

授業改善推進中期プラン 算数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立拝島第三小学校

学年等		項目	内 容
令和6年度 第4学年	令和4年10月	学習に関する児童の実態・課題	○学習のめあてをもち、課題を解決するための手だてや方法を考えたり、答えを導き出す仕方を発表したりして、意欲的に取り組んでいる。 ▲既習事項を生かした発展的な問題は、多角的な見方を要するため、思考力を問われる問題は課題がある。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・数学的な思考力・判断力・表現力。 ・既習事項をもとに、よりよく問題を解決するために多角的な視点から考える力
		具体的な授業改善の方策	・既習事項と結び付けて見通しをもたせ、課題を解決させるような問題解決的な学習の場を設定し、授業を展開していく。 ・問題解決の過程で、図や式から友達の考えを読み取ったり、考えを図や式、解き方の説明などを用いたりする活動を継続的に行う。 ・授業の振り返りや学習した要点をまとめて書く。 ・デジタル教科書を活用して、問題場面を視覚化し、必要な情報を考えさせる手だてとする。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○ホワイトボードなどを活用して、図や式を使って自分の考えを積極的に発言する児童が増えてきた。また、学習の流れを理解し、見通しをもって授業に参加できるようになってきた。 ▲既習事項が定着していない児童も多く、新しい単元に入るために時間がかかってしまう。その場で理解できても、それを持続させていくことができず、新しい学習に入るたびに、児童自身の困難や負担感が増えていっている。
令和7年度 第5学年	令和5年11月	学習に関する児童の実態・課題	○めあてを達成するために、資料を使って調べたり、友達と交流したりして意欲的に取り組むことができる。 ▲問題文を読み取ったり、既習の知識を活用して問題を解いたりすることに課題がある。 ▲既習事項を用いて、自分の考えをもてない児童がいる。 ▲空間認識能力が低く、図形を想像することを苦手とする児童が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・既習事項を基に、よりよく問題を解決するために多角的な視点から考える力。 ・計算方法に関する自分の考えや、図形の性質や特徴を言葉で表す力。 ・立体的を考えたり、展開図を考えたりするなど、図形を想像して考える力。
		具体的な授業改善の方策	・既習事項と結び付けて見通しをもたせ、課題を解決させるような問題解決型の学習活動を取り入れる。 ・問題解決の過程で、図や式から友達の考えを読み取ったり、考えを図や式に表し、言葉で表現したりする活動を繰り返し行う。 ・デジタル教科書や具体物を活用し、問題・課題場面を具体的に捉えやすくし、自分の考えをもちやすくする。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○既習事項を活用して、考えることができるようになった。 ○自分の考えを言語化し、伝えることができるようになってきた。 ▲問題文では題意を読み取るために、問われていることに線を引き、確実に立式できるようにしていく。 ▲かけ算わり算のミスなくできるように日ごろから計算練習を取り入れる。
令和8年度 第6学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	○めあてを達成するために、資料を使って調べたり、友達と交流したりして意欲的に取り組むことができる。 ▲分数の加法・減法・通分に課題が見られるため、公倍数や公約数の復習が必要である。 ▲図や表、言葉を用いて自分の考えを説明することに苦手意識が見られる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・図や表や言葉を用いて自分の考えを表現する力 ・既習事項を基に考えようとする力 ・自ら学び、考え、表現することのできる力（思考・判断・表現に関する力）
		具体的な授業改善の方策	・問題・課題場面を具体的に捉えやすくし、自分の考えをもちやすくする。 ・授業の導入で、本時で必要となる既習事項と結び付けたり、必然性のあるめあてを提示したりすることで見通しをもたせ、課題を解決させるような問題解決的な学習活動を取り入れる。 ・図や表や言葉を用いて自分の考えを説明する場面を設定する。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	